

中央図書館の設備改修に係る市場性アンケート調査

サウンディング実施結果

1 実施概要

- (1) 本市中央図書館の次年度以降の改修手法について、維持管理・運営等を含めた官民連携手法の導入可能性を検討するため実施しました。
- (2) 対話日時
令和6年10月18日（金）から11月29日（金）までの4日間
- (3) 参加事業者
5社
- (4) 対話における主な意見
別紙のとおり
- (5) 今後の予定
今回の参加事業者との対話結果については、今後の改修実施に向けての参考資料とさせていただきます。

質問事項	主な意見
参加意思	<ul style="list-style-type: none"> ・参加意思あり・・・1社 ・条件によっては参加意思あり・・・4社
市への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託は最低15年間、維持管理するので、費用面のサポートをしてほしい ・図書館の開館時間を延長する場合は、人集めが大変なので、市も協力してほしい ・図書館は知的障がい者の就労場所の受け皿になってほしい ・要求水準の内容と費用が乖離していないことが大事であり、民間側の立場に立って資料を作成し、提示してほしい ・最近のPFIには、維持コストのリスク分担の視点が抜けているので、市には人件費上昇のリスクを取ってほしい ・公募の際は、図書館の20年後を見据えて、市の明解な目標を提示してほしい
PFI参加時に重視するポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・市の目指すべき理想の施設の姿（ビジョン）が示されているか ・カフェ等で採算を取るのには困難なので、収益方法の工夫がされているか ・自主事業や運営維持管理を行う協力企業として参加できるか ・費用対効果があるか ・建設や自主事業等でプラスαの価値を創造できる余地があるのか
提供できるサービス・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインビルドで包括管理するとメリットが大きいと考えており、包括管理の手法等について助言が可能である ・設備更新に加えて、知名度のある家具メーカーと提携し、内装やインテリアを統一的にデザインする提案が可能である ・飲食店の誘致など、Park-PFI及び指定管理の実績を活かした提案が可能である ・他自治体で設計段階から公立図書館のPFIに関与した実績があり、ICタグによる資料管理や年代別、利用目的別のゾーニングなどの提案が可能である ・官民間問わず老朽化した施設を改修して、カフェ等の飲食施設を出店したノウハウを活かした提案が可能である
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・金利上昇局面ではPFI導入は難しい ・国に聞き取りしても行政側に立つような補助制度は現時点ではない ・図書館の根本（基本方針）と再定義が必要である ・中央図書館の備品（イスや机等）が老朽化しており全体的に暗く、1階授乳室は寂しいイメージがある

- ・中央図書館 3 階フロアの貸出してない部屋はもったいない
- ・中央図書館内で学童保育や認可保育所開設の可能性を検討してはどうか
- ・夜空をみながら入れるサウナや、コーヒーを飲みながらくつろげるラウンジの設置など、中央図書館の屋上利用はおもしろいと思う
- ・中央図書館 1 階 YA コーナーは利用し難いので、改修工事時にゾーニングを検討してはどうか
- ・ビジョン作成にあたっては、市民の合意形成や要望とのマッチングが大事である
- ・アーカイブ機能（書籍の電子化）の活用や書籍保管場所を広くするなどの工夫が必要である
- ・自動化、AI 化など時代変化に応じたサービス変動が予想される
- ・職員のノウハウをいかに継承するかが課題である
- ・中央図書館の立地条件は魅力的なので、周辺施設との一体的活用が可能なら提案の幅が広がる
- ・出資するのであれば、20 年程度の長期契約が必要である